

採卵については、採卵までの治療方法（誘発方法や使用薬剤など）が大いに関係するところですが、ここでは患者さんにとって心配でもある痛みに対して、麻酔の状況や採卵時のスタッフ、採卵後の休憩時間について調べました。

## 4-1

## 採卵時の麻酔

麻酔に関しては、無麻酔、局所麻酔、静脈麻酔での選択で聞いたところ、回答 113 件のうち、静脈麻酔が 113 件（100%）、局所麻酔が 68 件（60%）、無麻酔が 39 件（35%）でした。

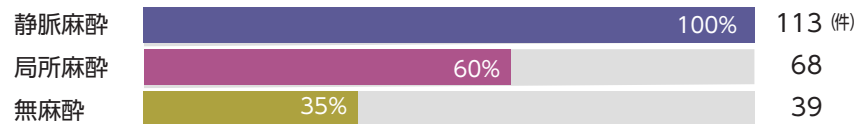
無麻酔も 35% の ART 施設で実施があることから、麻酔に関しては採卵時の卵胞数や採卵針の太さとの関係、患者さん個々の痛みに対する恐怖感などの情報とその整理も必要に思えます。

## 採卵時の痛みの緩和、麻酔の様子は？

細い針であっても、たとえそれが1回でも針で刺されるのは痛いものです。保険診療が始まり、これまで主に無麻酔で採卵を行っていた治療施設も静脈麻酔を用いて採卵を行うようになったことがうかがえます。ただ、麻酔の保険点数が低いことから

管理の大変な静脈麻酔を避け、実際には局所麻酔や無麻酔で採卵を行うケースもあり、また麻酔に関しては予想される採卵個数によって静脈麻酔を用いるが、痛みが弱いからなどの患者の希望には添えないとする治療施設もあるようです。

(有効回答 113 件)



グラフ 4-1 採卵時の麻酔

## 4-2

## 採卵時のスタッフ

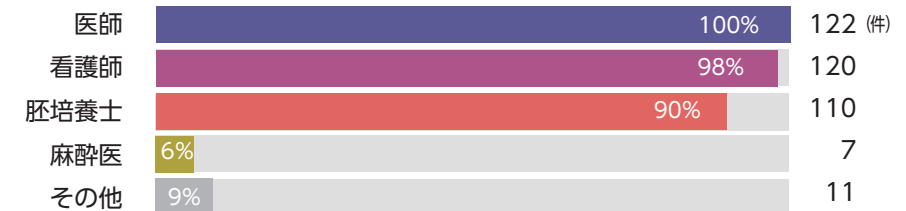
採卵時のスタッフについては、医師がいるのは当然ですが、どのようなメンバーで行われるのでしょうか。122 回答中、医師は 100%（122 件）に対して、看護師が 98%（120 件）、胚培養士が 90%、（110 件）麻酔医が 6%（7 件）でその他が 9%（11 件）でした。看護師も培養士も 100% でないというのは気になりますが、おおかた医師と看護師と胚培養士とで行っていることがわかります。したがって平均では 3～4 人以上ということになるでしょう。

胚培養士は採卵後すぐに検卵作業を行います。

その他には、麻酔科専門医取得医師、助手、看護助手、メディカルアシスタント、臨床検査技師、麻酔専従医師が記載されていました。

## 採卵時のスタッフは？

(有効回答 122 件)



その他 ▶ 麻酔科専門医取得医師、麻酔科専従医、助手、看護助手、メディカルアシスタント、臨床検査技師

グラフ 4-2 採卵時のスタッフ

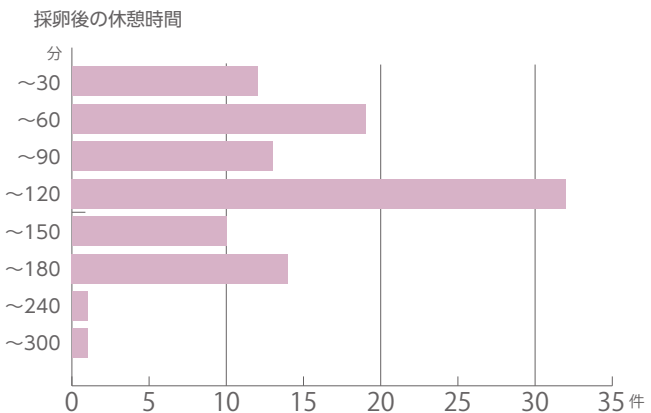
## 4-3

## 採卵後の休憩時間

採卵後には安静時間があります。そのため ART 施設には、安静室がありますが安静時間は患者さん個々の容体や麻酔の方法によっても違います。経過に問題がない限り、安静時間は無麻酔の場合なら 10～20 分と短く、局所麻酔であれば 1 時間、静脈麻酔の場合は 2 時間と言われることもありますが、長めに休むこともあるでしょう。回答状況から全体の平均をあえて探してみると、100 分ほどとなります（麻酔の種類別に考える必要もあるでしょう）。

## 採卵後の休憩時間はどのくらい？

(有効回答 118 件)



グラフ 4-3 採卵後の休憩時間